

書名	季刊考古学 別冊 淀川流域の古墳時代			著者名	編集／広瀬和雄、梅本康広		
出版社	雄山閣	ISBN	978-4-639-02876-5	本体価格	¥2,600	発売	2023/1/5
内容	中期では太田茶臼山古墳、後期では今城塚古墳を中心として古墳がつくられ、畿内の古墳時代を考えるうえで重要な地域のひとつとされる淀川流域。古墳前期から後期にかけての当該地域の実態と歴史的意義について考え、古墳時代政治構造を解明するための最新の研究成果をまとめる。						

書名	文化財をしらべる・まもる・いかす			著者名	編集／早川泰弘、高妻洋成、建石 徹		
出版社	アグネ技術センター	ISBN	978-4-86707-010-9	本体価格	¥3,600	発売	2023/1/10
内容	文化財を護り伝えていくうえで、大切なことは「保存」と「修復」である。人々が文化財を大切に保存し、適切な修復を行ない続けてきたからこそ、我々は多くの文化財を目にすることができる。 本書は独立行政法人国立文化財機構に所属する保存・修復の担当者が最前線の活動の一端を紹介するものである。						

書名	深読みしたい人のための 超訳 歴史書図鑑			著者名	伊藤 賀一／著		
出版社	かんき出版	ISBN	978-4-7612-7648-5	本体価格	¥1,600	発売	2023/1/10
内容	本書は、日本史を作った66の歴史書を、日本一生徒の多い社会科講師、スタディサブリの伊藤賀一先生のわかりやすい解説と、イラストでざっくり知ることができます。また、それぞれの歴史書から学べる教訓は何か？私たちが生活や仕事に活かすことができる伊藤先生からのアドバイスも収録しました。歴史上のできごとすべてには、表の部分と裏の部分があります。歴史書は、おもに表の部分が書かれていることが多いのですが、実は、裏につながる大事なことが書かれていることがあります。歴史を深読みしたい人にピッタリの1冊です！						

書名	関西の怖い街			著者名	関西怖い街研究会／著		
出版社	興陽館	ISBN	978-4-87723-304-4	本体価格	¥1,400	発売	2023/1/12
内容	京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山の怖い話						

2022/12/27

2023年1月発売一覧

啓林堂書店外商部 担当: 森川、表野  
TEL 0743-51-1000/FAX 0743-53-5151

書名	新版 なぜ『日本書紀』は古代史を偽装したのか			著者名	関 裕二／著		
出版社	実業之日本社	ISBN	978-4-408-42127-8	本体価格	¥1,000	発売	2023/1/12
内容	古代史研究の異端児・関裕二が、独自の調査・取材・分析・考察からあぶりだした『日本書紀』に秘められた古代史最大の謎とは？日本書紀は天武天皇の命により編纂された、という通説を覆す数々の証左、そしてヤマト建国にさかのぼる多数の疑惑……。果たして真実を葬り去った黒幕とは、いったい誰だったのか？日本書紀から、日本の『歴史』『伝統』『信仰』なども解説し、日本人のルーツと歴史の真相を明らかにする。						

書名	鬼平、京へ行く			著者名	松本英亜／著		
出版社	小学館スクウェア	ISBN	978-4-7979-8857-4	本体価格	¥1,800	発売	2023/1/18
内容	「小さな旅『鬼平犯科帳』ゆかりの地を訪ねて」シリーズ、待望の京都篇。「鬼平」が歩いた洛中・洛外を探索！『鬼平犯科帳』で京都、奈良を舞台にした作品「老盗の夢」「艶婦の毒」「兇剣」「流星」のゆかりの地をストーリーに沿って著者が丹念に訪ね歩きます。大津から京都へ入り、京都市内はもちろん、奈良までの行程を実際に歩いて踏破。旅の途中で出会った人たちとのエピソードや京都の大路小路なども紹介する、小さな旅の集大成！鬼平ファンの皆様、『鬼平犯科帳』の舞台は江戸ばかりではありません！！						

書名	図解 はじめての日本建築			著者名	松崎 照明／著		
出版社	丸善出版	ISBN	978-4-621-30794-6	本体価格	¥2,000	発売	2023/1/25
内容	日本にある多くの建築を、古代から現代まで時代順に、また神社、寺院、住宅の種類別に二十章にまとめた日本建築の教科書。文章はできるだけ短く、わかりやすく、図と写真を豊富に使い、専門用語にはすべて読み仮名を付けて、初めての人にも読みやすい構成。						

書名	47都道府県・戦国大名百科			著者名	森岡 浩／著		
出版社	丸善出版	ISBN	978-4-621-30773-1	本体価格	¥4,000	発売	2023/1/31
内容	戦国時代に各地で割拠していた戦国大名や国衆達を47都道府県ごとに徹底解説。守護大名の没落に従い在地勢力として大きな勢力を誇った国衆を主に取り上げる。各都道府県の冒頭ではその土地の戦国史も解説。江戸時代以降もその地で影響力を持った国衆が取り上げられていることで、郷土史の入門にもなる一冊。						